

議会だより



しろさと

SHIRO SATO

町の鳥 うぐいす

七会支団第3分団(小勝)
県央地区大会(小型ポンプ操法の部)
優勝!!



平成22年度決算	
一般会計のうちわけ	2
決算特別委員会報告	6
9月定例会で決まったこと	8
一般質問 町政を問う	11
お知らせ	18

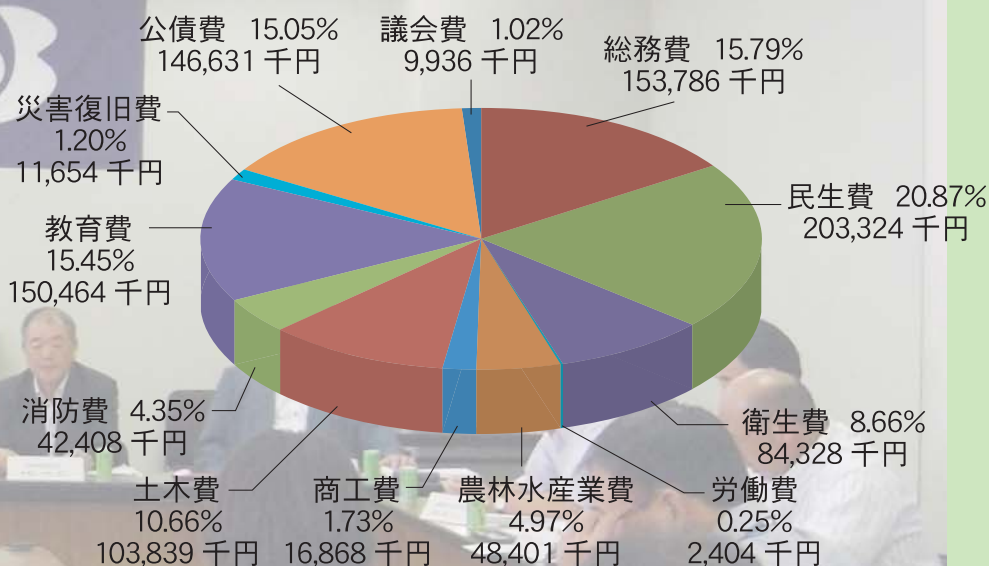


計のうちわけ

歳出総額97億円

第3回 議会定例会

定例会は、9月6日から15日の10日間の会期で開催され、条例改正2件、条例制定1件、契約の締結1件、補正予算6件、人事案件2件、決算認定8件の議案を審議し、すべて原案どおり可決・承認されました。また、請願2件、報告5件がありました。



□基金残高 **39億6,193万円**

町民一人あたり 約18万3,371円

(平成23年4月1日現在 21,606人)

□町債残高 **118億7,138万円**

町民一人あたり 約54万9,448円

(平成23年4月1日現在 21,606人)

平成22年度決算一般会

一般会計

歳入（町に入るお金）	103億6,048万円
歳出（町で使ったお金）	97億4,043万円
歳入歳出差引額	6億2,005万円

主に、このような事業に使われました。

（単位：万円）

事業名	支出額	内容
光ファイバ自営線スポット保守委託	876	七会地区光ファイバ自営線の保守料
デマンド交通システム運行補助	1,566	デマンド交通（ふれあいタクシー）に対する運行補助
自治振興交付金	890	区及び自治会への運営補助
敬老事業	854	敬老会を開催し、長寿を祝福し祝金の支給（75歳以上 3,513人）
特例乳幼児医療費助成事業	2,186	医療福祉費対象（マル福）外の小児及び中学校卒業までの児童・生徒の医療費助成
次世代育成支援金支給事業	670	出生祝金 23件、子育て支援金（3歳 27件、6歳 17件）
安心こども支援事業補助	2,684	感染症予防に資する物品の購入・待機児童解消のための保育所の施設整備を図るため、民間保育所への補助
健康診査各種がん検診事業	2,523	健康づくり意識の高揚を図り、がんの早期発見・早期治療
ふるさと雇用再生特別基金事業	1,555	観光施設への送迎バス運行事業・障害者地域支援送迎事業の委託
農地制度実施円滑化事業	153	耕作放棄地の分類状況による農地台帳の作成整備
ネットスーパー補助金	131	インターネットを活用し、買い物弱者支援
位置指定道路台帳作成委託	300	位置指定道路台帳の作成により、道路管理の充実（常北地区）
道路改良工事	4,620	通行の利便性及び生活環境の充実（石塚地内・錫高野地内・真端地内）
小学校閉校記念事業補助	1,600	記念式典行事・記念誌の作成等の補助（8校）
岩船小学校教室改修工事	191	小学校再編の児童数の増加に対応するため、転用された部分の改修
常北中学校校舎改築工事（Ⅰ期）	36,886	平成22年度分Ⅰ期工事
役場本庁舎望楼上部解体工事	1,260	本町舎の望楼上部倒壊部分を撤去し、応急措置を図る。

監査委員決算審査報告

8月2日（火）から5日（金）まで4日間にわたり、平成22年度一般会計決算と6特別会計決算・1企業会計決算と事業実施状況についての審査があり次の意見を付して、報告がありました。

- 地方債は、将来に債務を残すものであり、起債にあたっては、安易な財源不足の対応策とするのではなく、将来の財政運営に及ぼす影響を十分考慮し、今後とも公債費負担の軽減に努められたい。
- 合併算定替が平成27年度で終了し、大幅な財源不足を生ずることが予想されるため、中長期的な財政計画等により、持続性のある行政運営の見通しを図ることが緊要である。
- 未収金等は、町税ばかりでなく、さまざまな使用料・負担金等にも見受けられるので、徴収については、個別的に担当部署等だけで対応するのではなく、全庁的な対応ができるような組織体制により、効率的な徴収を図り未収額の解消に努められたい。
- 地方財政の状況は厳しく、総合計画に示される重点事業や計画目標の検証を適宜行いながら、住民ニーズを的確に捉え、事業実施後のランニングコストまでを含めた視点での事業展開が望まれる。

監査委員 一 木 邦 彦
監査委員 鯉 渕 秀 雄

財務比率

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
財政力指数	0.40	0.41	0.42
経常収支比率(%)	84.7	87.2	89.7
公債費比率(%)	11.6	13.5	14.6
起債制限比率(%)	6.9	9.8	10.5
地方債現在高(万円)	1,187,138	1,211,519	1,241,137

財政力指数……………「1」に近いほどよく、「1」を超えるほど財源に余裕があることを示す。
 経常収支比率……………おおむね70%から80%が標準とされる。
 公債費比率……………高いほど自由に使える財源がせばまる。おおむね10%程度
 起債制限比率……………過去3年平均で20%以上になると起債の許可が一部制限される。

近隣町村との比較

数字で比べてもかなり厳しい!! 今後の財政はどうなる？

決算見込みを的確に把握して、予算編成及び予算補正を適切に行うなど、限られた財源の効率的な運用を図るよう努めることが大事！

	財政力指数	経常収支比率(%)	実質公債費比率(%)
城里町	0.396	87.2	17.0
県平均	0.750	90.0	12.0
茨城町	0.567	82.3	14.2
大洗町	0.809	94.6	7.1
大子町	0.332	89.2	13.5

※「茨城県市町村概況（平成23年度版）」より抜粋

実質公債費比率

率が高いほど財政運営が硬直化していることを示しており、18%以上の団体は地方債の発行に際し許可が必要となり、公債費負担適正化計画を策定し、財政の健全化を図る必要がある。さらに、25%以上の団体は一定の地方債の発行が制限される。

平成22年度特別会計決算

特別会計及び企業会計の決算は以下のとおりです。

(単位：万円)

会計名		歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康 保 険	保険事業	232,072	230,645	1,427
	診療所	25,269	24,512	757
老人保健		564	564	0
後期高齢者医療		17,265	17,259	6
介護保険	保険事業	147,510	146,980	530
	サービス	420	420	0
公共下水道事業		93,830	86,864	6,966
農業集落排水事業		75,881	72,187	3,694
水道事業	収益的 収入・ 支出	75,658	67,295	8,363
	資本的 収入・ 支出	12,108	31,511	△19,403

質疑・答弁

決算特別委員会での主な

第3回定例会初日の9月6日、町長から提案された平成22年度城里町決算（8会計）について詳細に審査するため決算特別委員会が設置されました。

決算審査は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



委員会の審議状況

総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の9月7日に委員会を開催し、平成22年度一般会計決算の所管分・国民健康保険・老人保健・後期高齢者医療・介護保険特別会計の決算について審査しました。

（一般会計）

歳入

問 収納対策の強制執行について。

答 平成22年度は、差押えを116件。不動産公売2件を実施。平成23年度は、震災の関係で6月から強化実施している。

歳出

問 人事評価

はどのような評価方法をとっているのか。

答 個人が目標を設定し、上司と面談して設定している。最終的に2月頃に自己評価し、管理

職により職務状況を評価し、面談によりお互いにやり取りも出来ている。

問 ハザードマップの内容と配布先について。

答 土砂災害マップであり、液化化分は表示していない。また、該当する地区に配布した。

問 光ファイバの保守委託料の桂地区と七会地区での差の理由は。

答 整備した年度の違いと電柱移転・道路改良等によって金額が変わる。

問 行政評価はどのような方法をとっているのか。

答 方向性を検討し、継続・拡充・縮小・廃止を行っている。

問 不法投棄廃棄物処理委託料について。

答 公共用地に不法投棄さ

れた家電製品やタイヤ等の処分費である。

問 老人センターの今後について。

答 利用者が増えるように考えている。

問 小規模福祉施設のスプリンクラー整備費補助の箇所数について。

答 1事業所である。

（国民健康保険特別会計）

問 不納欠損の理由について。

答 相続人のいない方の死亡等で徴収不可能なものである。

問 施設勘定で、震災の関係で休診日は何日あったか。

答 2日間である。

教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、会期中の9月8日に委員会を開催し、平成22年度一般会計決算の所管分・公共下水道事業・農業集落排水事業・水道事業会計の決算について審査しました。

(一般会計)

歳入

問 町営住宅使用料の収入未済額について、今後の対策を強化し、どのように削減を目指していくか。

答 連帯保証人に納付指導を行うとともに、税務徴収員と連携し、徴収の強化を図っていく。



委員会の審議状況

問 町営住宅使用料の滞納者に法的な措置はとれないのか。

答 法的措置も視野に入れ近隣市町村・県営住宅等の状況を調査し、対策強化をしていきたい。

問 教育費補助金の有害図書について具体的な内容は。

答 青少年相談員にコンピ

二等の雑誌で有害図書がある場合には、ビニールで覆って中が見えないようになっているとか、また、他の雑誌と区分しているかなどの調査をお願いしている。

歳出

問 町として、畜産ヘルパー制度を活用しているのか。活用していれば人数と内容は。

答 役員を含めて全員で17名。牛引きの手伝いや、外出時の牛等のお世話をしている。ほとんどが和牛改良組合

員である。

問 教育長の交際費の支出の内訳は。

答 ほとんどが香典である。町長と同じ基準で支出している。

問 ホロルの湯とキャンプ場を町開発公社に委託しているが、町として経営に対して意見を言うことは可能か。

答 年度ごとに事業計画を提出してもらい、指定管理料を支出しているので可能である。

問 農家に対しての補助事業の募集や告知をどのようにしているのか。

答 県の補助事業に関しては、基本的に3名以上となっている。組合組織が基本であり、個別に町で相談を受けている。

(公共下水道事業)

問 計画面積の何%が事業確定したのか。

答 次の表のとおりである。

	常北地区	桂地区
計画面積	644ha	291ha
整備面積	281.9ha	225.3ha
整備率	43.8%	77.4%

決まったこと

条例改正

▽税条例等の一部改正

町民税・退職所得等に係る不申告に関する過料の見直し

寄附金税額控除対象の拡充

譲渡等に係る町民税の軽減税率

特例期間の延長

▽特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

庁舎建設検討委員会の設置

日額

委員長 4、000円
委員 3、500円

条例制定

▽暴力団排除条例の制定

暴力団の排除を推進し、町民の安全で平穏な生活の確保と町における社会経済の健全な発展に寄与するため

契約の締結

▽国補農業集落排水事業

古内地区処理施設建設工事

契約金額

167、685、000円

契約の相手方

株木・東海組特定建設工事
共同企業体

契約の方法

一般競争入札

人事

▽政治倫理審査会委員の選任同意

任期満了に伴い、次の方を同意しました。

植崎 明夫氏（水戸市）（弁護士）

丹下 榮一氏（那珂西）

富永 信一氏（磯野）

小田部晴美氏（下阿野沢）

小嶋 剛氏（石塚）

阿久津みさ子氏（小勝）

任期

委嘱された日から2年間

▽人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い、次の方を推薦しました。

阿久津 紘氏（小勝）

盛田 守氏（徳蔵）

任期

委嘱された日から3年間

9月定例会で

平成22年度補正予算

一般会計

①追加補正

7,755万円

総額 106億2,027万円に



ホロル君

※大樹スタジオに住む伝説のフクロウ
性格はやさしく、特技は、スタジオに
実をならせること。

歳入の主なもの

減収補てん特例交付金	87万円
普通交付税	17,276万円
公共土木施設災害復旧費負担金	△2,886万円
県支出金（補助金）	1,459万円
基金繰入金	1,400万円
繰越金	△3,431万円
町債	△6,588万円

歳出の主なもの

人件費	6,554万円
他会計へ	△4,032万円
山村ふれあい農園整備工事	△1,700万円
プレミアム付き商品券発行事業	1,200万円
道路舗装改良及び補修工事	2,500万円
コミュニティセンター城里	
自主事業委託	△800万円
震災復旧費	2,602万円

特別会計補正予算

5事業特別会計

会計名		補正額	補正後の額
国 保	保険事業	535万円	23億6,445万円
	診療所	△907万円	2億4,927万円
後期高齢者医療		6万円	2億 664万円
介 護	保険事業	△813万円	14億4,136万円
公共下水道事業		△451万円	13億8,105万円
農業集落排水事業		△1,483万円	7億1,734万円

審議した議案と各議員の賛否

第3回定例会・第2回臨時会の議案等の表決を賛成は、○、反対を×、欠席は、－で表示してあります。

議 案 名	蘭部一	余水紀夫	三村孝信	河原井大介	関誠一郎	加藤文夫	阿久津則男	桐原健一	小林祥宏	南條治	杉山清	三村由利子	小松崎三夫	鯉淵秀雄	根本正典	小坪孝
税条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
暴力団排除条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成23年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 の た め 採 決 に 加 わ っ て い な い	○	○	○
国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
公共下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成22年度一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
国民健康保険特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
老人保健特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
介護保険特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
公共下水道事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
農業集落排水事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
政治倫理審査会委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
教育予算の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
備品購入契約の締結（消防車3台）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
備品購入契約の締結（常北中学校施設用備品）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×		○	○	○

請願審査結果

▽早期の学校耐震化及び教育復興を求める請願

閉会中の継続審査

町においては、耐震診断を必要とする学校施設はすべて完了し、基準を下回った施設においては、早期に補強設計・工事を着手する方針が出たばかりで、今後の状況を見定めながら審査するため

▽教育予算の拡充を求める請願

採 択

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は重要であるため

※意見書を内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

今回5人が質問し、
その要約を掲載しました。

菌 部 一 議員 …… 12P

- ・過疎地域自立促進計画について
- ・地域資源・歴史的資源の活用について
- ・安全管理について

南 條 治 議員 …… 13P

- ・震災後の現在の状況は
- ・統廃合した小学校児童の様子について
- ・各課管理の建物について

余 水 紀 夫 議員 …… 14P

- ・幼稚園について
- ・公共下水道について

関 誠一郎 議員 …… 15P

- ・学校給食食材について
- ・坏地区公民館について

河原井 大 介 議員 …… 16P

- ・東日本大震災を受けて町としての対応の総括は
- ・地場産業育成と町づくりについて
- ・七会診療所の建替えについて
- ・新庁舎（本庁・支所）建設について

一般質問

町政を問う

過疎地域自立促進計画について

〈町長〉過疎債を利用し、診療所や主要道路を整備する



そのへ 蘭部 はじめ 議員

蘭部 進捗状況と財政的にはどのような有為なのか。

町長 過疎地域は七会地区が該当で自立促進と住民福祉の向上、地域格差の是正をする。過疎債を利用し、診療所や主要道路を整備する。

企画財政課長 6年間の全事業数59件内平成22年度実施は10事業着手、過疎計画全体では17%の進捗率。

蘭部 今回の地震で被害を受けた本庁舎等の復旧も早急に復旧すべきであるが健康と福祉、医療の充実、道路の整備促進も同時進行すべきと思う。

町長 七会診療所の建て替えは国民健

康保険運営協議会に諮問中であり、診療棟は築39年経過、場所も急傾斜地として土砂災害警戒地区に指定されているため、過疎債が活用できる期間で建設し、道路は徳蔵倉見線、こび山線、真端線を着手中。

蘭部 高齢者の増える中で、ひとしく公平な医療の恩恵を受けられるよう期待する。

町長 財政上、優遇される過疎債を活用し、建設出来れば、道路についても日常生活の利便性、安全確保を図るため進めたい。

地域資源、歴史的資源の活用について

〈町長〉小松寺の重盛公墳墓をPRし、観光客誘致を

蘭部 来年1月からNHKの大河ドラマ「平清盛」が放映されるが、清盛の長男重盛公のお墓が上入野の小松寺にあるが、ドラマに便乗し町おこしに結びつけたい。

町長 小松寺裏の重盛墳墓は県の指定文化財であり、ゆかりの地としてPRに努め、観光客の誘客につなげたい。

蘭部 具体的方策と計画は。

町長 観光協会のホームページ等で、小松寺周辺のホールの湯、ふれあいの里等を。

安全管理について

〈町長〉保護帽を全職員の安全確保に購入配布、消防団へは順次更新

蘭部 職員、消防団に貸与されている保護帽の管理は適正か。労働安全衛生法上の耐用年数は。

総務課長 F R B、熱硬化性樹脂は5年、ABS製熱可塑性樹脂は3年。

蘭部 消防団へも購入を、その他消防器具も耐用年数の過ぎた物は改善をしては。

町長 東日本大震

災直後、全職員の安全確保に購入配布、消防団へは順次更新。



なんじょう おさむ
南條 治 議員

震災後の現在の状況は

〈町長〉舟渡団地跡地・塩子地内のガレキ集積所は約1か月で処分完了の見通し



舟渡団地跡地

南條 ガレキ集積

所のガレキ対応は。

町長 舟渡団地跡

地・塩子地内の集積

所は8月28日入札。

約1か月で処分完了

の見通し。

町民課長 概算で大

谷石1029t、コ

ンクリート類217

t、瓦類351t、

合計1597t。

南條 完全復興に

対しての費用と時期

はどの位想定してい

るのか。

町長 復興費用が

10億4000万円。

新庁舎建設費・本庁

舎と桂支所の解体費

用等で28億円と想定。

南條 今後起こり

得るかも知れない地

震・災害についての

対策は。

総務課長 町防災計

画に基づき防災体制

の整備。情報収集と

発信。今年度町消防

団組織検討委員会に

おいて消防組織一元

化について検討いた

だき、一本化される

ことで円滑な対応が

出来るものと考えて

いる。

統廃合した小学校

児童の様子について

南條 プール授業

は。

教育長 震災により

桂小学校のプールは

本体に被害。プールの

亀裂修理はしない

で解体。桂中学校は

機械室天井落下。今

年度中に復旧。小学

校は文科省規定によ

り各学年12時間。中

学校は1年生のみ必

修10時間。プール施

設のない常北中はホ

ロルの温水プールを

使い水泳の授業を実

施したい。

南條 廃校舎の今

後は。

町長 全ての施設

を耐震化しての利用

は難しい。

南條 教育委員会

管理のその他の建物

各課管理の建物について

南條 整理してい

くべきと考えるが。

保険課長 沢山診療

内科は歯科診療室の

倉庫。七会診療所医

師住宅1棟は処分を

検討。

産業振興課長 うぐ

いすの里展望風呂は

19年から設備故障で

閉鎖。物産品直売所

ななかいし営業不振

の為休止状態。売却

処分を検討。旧町村

単位のキャンプ場は

統廃合。旧常北物産

について。

教育長 公民館5

館・給食センター3

施設・幼稚園2施設・

体育館3施設・桂図

書館・コミュニティ

センター城里・伝習

館と合計16施設。使

用していない七会幼

稚園・稼働状況の悪

い施設等は、精査検

討。不必要な施設に

ついては、処分等も

検討。

センターは民間貸与

を検討。

総務課長 錫高野・

御前山の消防自動車

車庫は地区で再利用

の希望がない場合は

取り壊し。

健康福祉課長 桂保

育所・高田荘は24年

度には整理していき

たい。

常北幼稚園経営の将来のビジョンは

〈町長〉民間事業者との整合を図るとともに、民営化についても検討していかなければならない



余水 紀夫 議員



現在の幼稚園校舎

余水 園舎は、41

てまいりたい。

年前に建設したものであり、園庭等も道路改良に伴い、以前より狭くなったが、現状をどのように把握しているのか。また、将来の経営の基

本姿勢、ビジョンを伺う。

教育長

園舎は、昭和45年3月竣工の鉄

町長 園舎は、狭隘であるので、今後、計画的に整備を進め

延べ床面積422㎡で、年数がたつてい

増井地区の下水道整備を早急に

〈下水道課長〉平成25年度より年次計画の中で整備を進めていきたい

余水

小松小の体

町長

国の補助金

ただきたい。

町内に幼稚園・保育園が4園あるので、延長保育も含めて、幅広い範囲で将来の方向性を今後検討していきたい。

育館は、約3年前に建ったもので、これを有効に活用する上でも、幼稚園を小松小へ移転としてはどうか。

も見込めなく、厳しい財政環境なので、移転は難しい。小松小跡地問題については、跡地検討委員会の中でよりよい方向で進ませたい。

余水

上泉・増井

関連公共下水道整備

余水

今後の整備

地区の一部3ヘクタールについて、事業認可申請をしたと聞いた。町の今後の計画特に増井地区の整備計画について伺う。

県の計画が認可されれば、町においても県のほうへ認可拡大の申請をしてまい

きたい。
下水道課長 平成25年度より年次計画の中で整備を進めていきたい。

町長

増井地区の

茨城県那珂久慈流域



せき 関
せいいちろう 誠一郎 議員

学校給食について

〈教育長〉一部地元の野菜を利用し、基本的に安全は確認されていると思う

関 現在納入している産地は。安全を確認しているのか。

教育長 4月には九州・四国と順次長野・群馬・千葉、最後に茨城産を使用している。7月以降農協を通して一部地域の野菜を利用している。基本的に安全は確認されていると思う。

関 放射能測定機の導入の考えは。

町長 今回の議会で予算化し導入する。

坏地区公民館について

〈町長〉建物・外周部の地盤沈下が認められ、土地も借地の為、解体と判断

関 何故解体するの。地も借地の為、解体と判断した。

町長 調査の結果、建物・外周部の地盤沈下が認められ、土鉄骨部の変化、損傷

関 町作成の報告書は、基礎の沈下、

は確認されないところ、構造上の損傷は無いとの結果でも解体するのか。

教育長 地元の区長

関 坏地区のコミュニティションの場合は。には解体について理解をいただいている。

町長 閉校した坏小を利活用する。一度に修理は出来ないが皆さんの協力を得たい。



被災後の坏地区公民館



閉校となった坏小学校

東日本大震災を受けて 町としての総括について

〈町長〉今後、防災計画を見直し、対応していく



かわらいいだいすけ 河原井 大介 議員



地震直後の本庁舎

河原井 城里町地域防災計画（1796ページ）があるが、実効性と総括は。
町長 情報発信手段に障害が発生し、町民に対する情報提供が迅速に出来なかったことが、今回の反省点である。今後、防災計画を見直し、対応していく。

河原井 防災計画の見直しをするためにも、震災時の様々な状況を住民の方々から教えていただくように「地域の住民アンケート」を実施すべきと考えるが。
総務課長 今後、検討していく。

河原井 防災力向上の為に事業例えば9月1日（防災の日）に避難訓練を行わなかったのはなぜか。
総務課長 通常の職務に追われていて避難訓練が出来なかった。



対策本部前の給水作業

河原井 災害時の情報伝達手段としてアマチュア無線の愛好会や猟友会との協力体制は必要だと思うが。
総務課長 検討してみたい。

河原井 当然、城里町としては、地域の医療機関と今後の災害対応策について打ち合わせ、会議等を行っていると思うが、会議の中での意見等を伺いたい。

総務課長 医療機関とは、特に打ち合わせは行っていない。

地場産業育成と町づくりについて（ジョブカフェ設置とタウンマネジメント）

河原井 町の復興としての町づくりのビジョンと町長の政治的な思いもしくは、個人的な見解を伺いたい。

町長 活性化に向けた支援を検討していく。ご意見等があればいただきたい。

河原井 どのように
町長 現在解体設計が完了し、今後本庁舎の解体工事を優先的に進めていく。庁舎建設検討委員会を組織し、基本構想をとりまとめていく。早急に庁舎を建設する。

地域医療を担うのか。又、今後の明確な課題整理はなされているのか。
町長 現在、国民健康保険運営協議会に諮問をし、検討協議をしていただいている。僻地医療の拠点（七会地区）である。そしてまた、過疎債が使える有利な時期である。

新庁舎建設について

議会の動き

愛媛県砥部町議会 総務文教常任委員会が来町



7月8日、愛媛県砥部町議会の総務文教常任委員会が、「デマンドタクシー」を研修するため、本町を訪れました。最初に、コミュニティセンター城里 会議室において概要を説明、意見を交換した後、保健福祉センターに場所を移しての研修となりました。

■ 砥部町の概要 ■

人口 22,439人
キャッチフレーズ「清流とほたる 砥部焼とみかんの町」

砥部町は、愛媛県の中央に位置し、香り高い文化と歴史が息づくまちです。
いにしえのロマンを感じる遺跡群や伝統文化・工芸など、現在・過去と未来が繊細にからまり織りなす「アートの里」です。

臨時会報告

7月27日（水）に第2回臨時会が開催され、次の案件が審議されました。

● 備品購入契約の締結 （消防ポンプ車3台）

契約の金額

48、510千円

契約の相手方

水戸市東原三丁目6番24号
トキワ産業株式会社

● 備品購入契約の締結 （常北中学校校舎施設用備品）

契約の金額

19、425千円

契約の相手方

城里町石塚615番地の25
茨城厨機株式会社

議会を傍聴してみましよう！

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。どんな計画があつてどのように進んでいるのだろうか。みなさんに身近なことです。

どなたでも傍聴できますので、ぜひ一度議会の傍聴にお出かけください。



定例会会場

傍聴者報告

第3回定例会(9月16日～21日まで開催) 延べ10人

次回の定例会は12月13日からの予定です。

(コミュニティセンター城里1階 サークル室の予定)

日程など詳しいことは議会事務局へ

TEL.029-288-3111 (内線 302)

編集後記

3月11日発生した東日本大震災に始まり、9月2日の紀伊半島を襲った台風12号、9月21日浜松に上陸し本州を縦断した台風15号、日本は、満身創痍です。加えて福島第一原発の水素爆発により放射能の空中拡散は日本中に大きな不安をもたらしています。一日も早い収束を願います。

本町のお茶も暫定基準を超える放射能セシウムが検出され出荷停止となりました。米は、大丈夫か米農家や関係者の方々は大変心配をしたところですが、幸い検査の結果は、放射能物質は不検出でした。水田は黄金に色づき、たわわに実った稲穂をコンバインが刈り取っています。

しかし、風評被害が心配です。議会も本誌を通じて町民の皆様との意思疎通の場として重要と考えております。

蘭部 一 記

議会広報委員会

委員長
副委員長
委員

小原 林 大 祥 宏
杉山 清 介
南條 治
加藤 文
余水 紀 夫
蘭部 一 夫

